

新しい青年の風

「青年」とは夢があり、情熱があるのです。年齢で計るものではありません。夢を持ち続けて情熱があればそれは青年なのです。夢を失ってしまった人は老人です。私たちは夢がほとんど無くなってしまっていないでしょうか？心に熱いものが無くなり、感謝が無くなっていないでしょうか？年齢が年老いているのではなく夢を失って老人になっていないでしょうか？そしてここにいる皆様は青年でしょうか？それとも老人でしょうか？皆さんの答えは「青年」です。青年においては純粹さもなくてはならないのです。正義によって生きるという純粹な心です。みんな純粹な心があったのです。青年は何もないのです。ですからすぐ行動することができます。宣教のすぐいっく事も出来るのです。

私たちの背中を見て育ちのが二世です。もう一度青年の風を吹かすためには、私たちの背中を見て大きくなる二世でなければなりません。そうすれば一世の私たちが夢を持ってしっかり立つ必要があるのです。私たちが夢を持つと二世たちが夢を持つのです。親がみ旨を自慢すると二世も自慢するようになるのです。お父さんが教会に来れば自然と二世も来るようになるのです。お父さんがどう立つのか？それが重要なのです。内外共の環境を準備し、天の子供として育てる事、もう一度青年の風を起こしたいのです。そのためには一世がしっかりすることです。教会で一番聞きたい声があります。赤ちゃんの泣き声です。大きな喜びなのです。そうすれば間違いなく若者が教会に集う事が出来ますし、2世とつながるようになります。そのようになれば間違いなく教会は発展するのです。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
天の父母様と眞の御父母様の祝福が共にありますようお祈り致します

1. お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。

2. 50周年特別路程 (9月2日～11月30日までの歩み)

来年は日韓国交正常化から50周年を迎える年であり、内的には、TFが日本を訪問されて50周年を記念する年でもあります。TFは1965年から世界40カ国を巡回され、120カ所の聖地を決定されました。その最初が東京の代々木公園であり、最後の120番目の聖地に青坡洞前本部教会を定めました。母の国・日本を始めとして、父の国・韓国で最後を結んだように、日本から始まって全世界の平和が韓国に結ばれ、南北統一の道まで結ばれるように条件を立てていきましょう。

3. 東埼玉教区ファミリー大運動会(延期)

10/5は雨天のため以下の日時に延期になりました。

日時: 10月12日(日)9:45～

場所: 秋ヶ瀬公園 三ツ池グラウンド

4. 地区長巡回早朝祈禱会(浦和教会担当)

日時: 10月7日(火)5:00～

場所: 浦和教会 礼拝堂

5. 嫁さん弁当

日時: 10月8日(水)

第二週水曜日は嫁さん弁当の日です。

7. 「2014 秋季清平特別大役事」東埼玉教区ツアー

10月25日(土)～10月27日(月)

69,000円

漢南洞公館、天福宮、旧本部教会、眞の父母様歴史記録院訪問



【年頭標語】

창조주 하늘부모님을 닮은 참사랑을 실천하는 천일국의 참주인이 되자!

創造主、天の父母様に似た、眞の愛を実践する
天一国の眞の主人になろう!



浦和教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Urawa Church
世界基督教統一神靈協会

教区長：李 炯燮 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12
Tel : 048-886-8774 / Fax : 048-886-8797
E-mail: uc.urawa@gmail.com

式次第



執礼者：李 炯燮教区長

司会者：田川 敏伝道教育部長

開 会	司会者
黙 禱	全 体
※開会讃頌 聖歌 5番	全 体
※敬 拝	全 体
※家庭盟誓	全 体
代表祈禱	白石晴美
讃 頌	聖歌隊
み言訓読	全 体
説 教	創立55周年	
※讃 頌 聖歌 25番	全 体
※祝 禱	執礼者
※全体祈禱	全 体
教会音信	司会者
閉 会	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

今週のみ言

1958年、甲寺(カプサ)の裏山に崔奉春(チェホンチュン)を呼んで私は言いました。「おまえは、今すぐ玄界灘を渡っていかねばならない。勝利するまで戻ってくることはできない」彼は少しもためらわずに「はい」と答え、「召されて出で立つこの身はゆくぞ…」という統一教会の聖歌を歌いながら、意気揚々と山を下りて行きました。日本に行って生活はどうしたらいいか、宣教はどうやって始めたらいいかと尋ねることもしませんでした。崔奉春はそのような豪胆な男でした。

当時は日本と国交がなかったので、密航するしかありませんでした。密航は国法を破ることでしたが、日本宣教は必ずやらねばならない事でした。したがって、何があろうと困難は全て耐え忍ぶしかなかったのです。

崔奉春は決死の覚悟で密航船に乗り込みました。私は、彼が無事に海を渡ったと知らせてくるまで、他のことは一切せず、小さな部屋にこもって座り、ひたすら祈り続けました。何も食わず、寝ることもしませんでした。

～ 平和を愛する世界人として～



統一運動

10月1日、「日本統一教会創立55周年記念」開催！

大会第1部では、長年功労のあった牧会者や伝道優秀者など85人の表彰式が行われ、徳野英治・日本統一教会会長と宋龍天・全国祝福家庭総連合会総会長から、功労牌や賞状と記念品が授与されました。第2部は、「天一国の歌」を斉唱、太田洪量氏が代表報告祈禱をしました。韓鶴子総裁の最近のメッセージと日本統一運動の足跡を振り返る映像上映の後、徳野英治会長が主催者挨拶を行い、「天一国創建という天の摂理に全責任を担っておられる真のお母様(韓鶴子総裁)をお支えし、み旨成就に邁進して行こうではありませんか！」と訴えました。続いて、宋龍天総会長は歓迎の辞で、日本の少子化問題を指摘しながら、「日本統一運動は、救国救世の運動として真の家庭国民運動を展開し、日本の家庭と国家再建の先頭に立つべき歴史的使命を担っています。文善進世界本部長の“絶対孝”の心情と一つとなり、天地人真の父母様(文鮮明師ご夫妻)と一つになってVISION 2020実現に向けて母の国としての歴史的な使命を果たして参りましょう」と訴えました。文善進世界本部長は、韓鶴子総裁の心情の一端に触れる一節で時折涙ぐまれながらも、韓総裁の講演文「未来の平和世界に向かう道」を代読されました。「誰もが願う幸福な人生と平和の世界を、私たちは成し遂げることができます。感謝は天運を受けるようにし、許しは人の心を開き、愛は人を動かします。万事に感謝し、怨讐までも許し、隣人を私の体のように愛し、平和のために一つになりましょう」と訴えられました。

